

【第4学年環境教育 活動の足跡】

1. 単元名 西園守り隊 ～もったいないを広げよう～
2. ねらい

社会科の「住みよいくらし」の学習後に地域のゴミに目を向けさせ、ゴミを減らす方法を調べると共に、自分達にできることに積極的に取り組む態度を身に付けさせる。

3. 実践の記録（50時間単元）

月	展開	小単元名・主な活動	育てる力・技能	教師の関わり・教科との関連
六・七月	つ・か・む	「見つけよう、私達の守るもの」 第1～2時 オリエンテーション ゴミ問題を知り、調べたいことや取り組んでいきたいことについて話し合う。 第3～5時 ゴミ拾い ゴミ拾いの計画を立て、実践。収集したゴミから種類や落ちている場所について考察。 第6～7時 活動の見通し 今後の活動（ゴミを減らすために調べていきたいこと）について、見通しをもつ。	○主体的に取り組む態度 ○課題を発見する力 ○課題を設定する力	●社会「住みよいくらし」と関連させて考えさせていく。 ○ゴミ拾いは、学区の地域をまんべんなく行うために、登校時に行う。 ○ゴミ拾いをして感じた事を大切に、調べ学習の見通しをもたせる。（課題ごとにグループ決め）
九月	追・究	「守り隊として勉強開始」 第1～10時 課題にそった調べ ①今のゴミの状況 ②リユース ③リデュース ④リサイクル ⑤3Rの他に	○主体的に取り組む態度 ○情報を収集・選択する力	●国語「本のさがし方」と関連させる。 ○インターネットや本、リサイクルセンターや清掃工場のパンフレットなどから必要な資料を収集させる。
十月	ま・と・め・発・信	「守り隊からメッセージを届けよう」 第1～2時 伝えたい事をグループごとにまとめる 第3～18時 発表練習 まとめた原稿を基に、発表会に向けて練習をする。 ※発信の場 学習発表会	○まとめる力 ○伝える力	●国語「伝言はまちがえずに」「伝え合うということ」と関連させる。 ○収集した資料の中で、特にみんなに伝えたいことをまとめさせる。 ○相手（全校児童・保護者・地域の人）を意識した発表になるように方法を考えさせる。
十一・十二・一・二・三月	深・め・る	「自分達にできることに取り組もう」 第1時 振り返り 発表会の振り返り 第2時 活動の見通し 今後の活動（自分達にできることに取り組む）について、見通しをもつ。 第3～11時 実践 月ごとに目標を設定、実践。	○振り返る力 ○課題を設定する力 ○実践する力 ○主体的に取り組む態度	○学習発表会での発表を振り返らせる。 ○ゴミを減らすために自分達にできることは何かを月ごとに考えさせ、取り組ませる。（ワークシートの活用）
三月	振・り・返・り	「活動を振り返ろう」 第1～4時 一年間の振り返り	○振り返る力	●国語「話し合って決めよう」と関連させる。 ○一年間の活動を振り返らせると共に、今後とも続けていこうという意識を高めさせていく。

4. 評価・反省（成果と課題）

- ・実際にゴミ拾いをしたことで、思った以上に身の回りにゴミが多いことを実感したようである。その後、問題意識を持ち、調べ活動や発信を行うことができた。
- ・発信の後、月ごとに自己目標を決め、取り組ませた。発信して終わりではなく、実践していくことに意味があると感じている。無理なく取り組めること（割り箸を使わない等）から始めることにより、達成感をもたせるようにしてきた。そのことにより、継続して取り組んでいこうという意識が高まった。